

好物の一つが牛のステーキであったこと、魚を口にしていたことも思い出した。これは矛盾なのか、それとも……。とまれ、単純な動物愛護の作品などではない深さが、ドリトル先生シリーズにはある。

就職して最初のボーナスで、ドリトル先生シリーズを12冊セットで買った。初めて読んだ時のワクワクする気持ちが、本を手にとるとよみがえってきた。この12冊は、チャペックのお医者さんと一緒に、いまでも自宅の書棚に鎮座している。

なお、エディ・マーフィの演ずる映画のドリトル先生は、ロフティングの作品とは別物。見ている分には、面白いが……。

あちこちの図書館で、このほかにも多くの本に出会ってきた。仕事で図書館を使うようになってからは、専門の歴史書がどうして

も中心になるものの、愛大のような開架式の図書館では本の森の冒険をしたくなる。その時は、目的の本探しがだんだん意識から遠ざかっていって、そこにいるだけで楽しくなってしまう自分がいる。本探しと、本を読むことが自己目的化されていくのがよくわかる。自分の家でも、探しているはずの本が見つからない時、探しながらほかの本に目がいってしまい、結局別の本を引っ張り出して読んでいることがよくある。それが、元々探していた本と何の関係もないことは、しょっちゅうである。本に触れていれば、それでウキウキしてくる。仕事の道具としての本でも、なで回したりページをさすったり。辞書などは、手になじんでくると親しい友人のようだ。そうした自分の本たちとは別に、図書館が冒険の場所であることは、いまでも変わらない。

## 図書館でのコピーについて Q&A

著作権法とのかかわりで制限があります

**Q. 図書館にはコピー機があるのに、なぜノート等のコピーはできないのですか？**

A. 図書館にコピー機があるのは著作権法により図書館資料のコピーが認められているからです。持込み資料やノート用にコピー機を設置しているではありません。

**Q. 全文をコピーしたいのですが….**

A. 図書の全文コピーは原則不可です。著作物全体の半分以下が許可されます。例えば200ページの単行本の小説であれば100ページまではコピーが許されます。

**Q. 雑誌・大学の紀要・新聞は、コピーできますか？**

A. ● 雑誌・大学の紀要は次号が発行されれば、個々の著作物の全文コピーが許可されます。

● 当日の新聞のコピーは認められません。

著作権法（図書館等における複製）

第31条 図書、記録その他の資料を公衆の利用に供することを目的とする図書館その他の施設で政令で定めるもの（以下この条において「図書館等」という。）においては、次に掲げる場合には、その営利を目的としない事業として、図書館等の図書、記録その他の資料（以下この条において「図書館資料」という。）を用いて著作物を複製することができる。

1 図書館等の利用者の求めに応じ、その調査研究の用に供するために、公表された著作物の一部分（発行後相当期間を経過した定期刊行物に掲載された個々の著作物にあっては、その全部）の複製物を一人につき一部提供する場合

2 <以下略>